

【建築まちづくり委員会、セミオープン勉強会】

■タイトル「建築コンペとは何か——専門性と総合性のコミュニケーションが生む『いい建築』」

■レクチャー：山本想太郎氏（デザイン部会長）

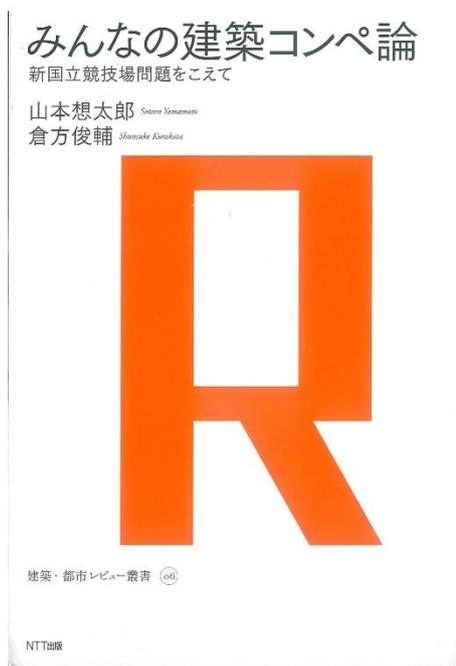
■2021年6月22日18:00～19:00（※建築まちづくり委員会は17時～）

■オンラインZOOM（30分レクチャー、30分ディスカッション）

Zoomミーティングに参加する

<https://us02web.zoom.us/j/86948784027?pwd=RDRmVmNkdFdyOGI4NzZNSHRMQlptUT09>

ミーティングID: 869 4878 4027 パスコード: 110761



今回は、「みんなの建築コンペ論」の著者、山本想太郎氏から、「建築コンペとは何か——専門性と総合性のコミュニケーションが生む『いい建築』」について、お話し頂きます。「新国立競技場コンペ」でコストの問題が表出し、メディアに取り上げられ様々な意見が出た。これが実はとても大切なのだが、白紙に戻す顛末により総合性の機会を失った。過去のコンペではこのようなゴタゴタは当たり前で、それを通して総合性が加味され良い建築が生まれる」という論。市民参加のまちづくりにおいて、色々な意見が出てゴタゴタするが、それも総合性へのプロセスと捉えることができます。建築の民主化に繋がる話が期待できます。

■みんなの建築コンペ論／新国立競技場問題をこえて

■著者：山本想太郎、倉方俊輔

■NTT 出版：2600円

■山本想太郎（やまもと そうたろう）

1966年東京生まれ。1991年早稲田大学大学院修了。1991～2003 坂倉建築研究所勤務。2004年山本想太郎設計アトリエ設立。現在、東洋大学・工学院大学・芝浦工業大学非常勤講師。日本建築家協会関東甲信越支部デザイン部会長。HEAD研究会理事。主な建築作品に「磯辺行久記念 越後妻有清津倉庫美術館」、「妻有田中文男文庫」、「南洋堂ルーフラウンジ」（南泰裕、今村創平と共同設計）など。主な著書に「建築家を知る/建築家になる」（王国社）、共著に「みんなの建築コンペ論」（NTT出版）、「異議あり！新国立競技場」（岩波書店）、「現代住居コンセプト——117のキーワード」（INAX出版）など。主な受賞に、オーストラリア建築家協会賞、AACAA賞、東京建築賞など。